



**7/5(土) 第2回東京菊池会総会**

昨年10月に発足した東京菊池会(平山正剛会長)の第2回総会が、東京都の東海大学校友会館で開催されました。総会後に行われた懇親会「ふるさと菊池のつどい」では、たくさんの方が参加し、ふるさとと昔を思いながら話に花を咲かせていました。

また、菊池市の農・畜産物や特産品のPRを兼ね、旭志牛や七城米などが当たる抽選会も行われ、大変、盛り上がりしました。

総会後に行われた「ふるさと菊池のつどい」

**6/29(日)・7/6(日) 菊池市消防団旭志方面隊と菊池方面隊で消防操法大会**

6月29日に菊池市消防団旭志方面隊の操法大会予選会が旭志グラウンドで、7月6日に同じく菊池方面隊の消防操法大会予選会が総合体育館駐車場でありました。

旭志方面隊の予選会には18チームの選手たちが、菊池方面隊の予選会には14チームの選手たちが出場し、連日にわたる訓練の成果を発揮しました。

7月27日(日)開催の菊池市支部消防団操法大会への出場チームは、次のとおりです。

●旭志方面隊

小型ポンプの部 第19分団2部1班(片川瀬)、第19分団2部2班(尾足)、第18分団2部2班(伊坂)

●菊池方面

小型ポンプの部 第8分団第3部、第3分団第2部、第6分団第1部、第8分団第2部、第5分団第3部、第1分団第2部

ポンプ車の部 第1分団

※7月27日(日)開催の菊池市支部消防団操法大会結果は、次号(9月号)で紹介します。



旭志グラウンドであった旭志方面隊の操法大会

操法大会は、火災のいかなる状況下においても安全確実かつ迅速に任務を遂行し、技術の練磨と部隊としての連帯を体得するために毎年行われています。

**ホーリーサムソンさんが琴から 日本文化を勉強中**



イベントで琴を演奏するホーリーさん(左から2番目)

菊池南中と菊池北中、菊池北小のALT(外国語指導助手)として活躍しているホーリーサムソンさんが、琴を通して日本文化を学んでいます。平成18年7月にカナダから来日したホーリーさんは、日本文化を学びたいと知り合いに紹介してもらい、泗水町にある熊本お琴教室泗水研究所(渡 雪美主宰)に通い始めました。ホーリーさんは、週に1回のレッスンを受けながら、時間があれば自宅でも練習するほどその魅力に取り付かれ、自分の「マイ琴」も購入しました。

最近、教室が行う各種の演奏会やイベントなどにも参加しています。7月に行われた病院のイベントに参加したホーリーさんは、森のくまさんや大きな古時計など十数曲をメンバーと一緒に演奏し、患者や関係者を和ませました。

ホーリーさんは「将来の夢は音楽の先生になることです。他にも三味線も習ってみたいです。カナダに帰るときは日本の楽器をたくさん持って帰りたいです」と話されました。

**6/27(金) 古代米の田植え**

菊池北小学校(倉原久義校長)の5年生51人が、昨年から交流をしている福岡県太刀洗町の菊池小学校から贈られた古代米の田植えをしました。一昨年、当時の菊池北小の児童が、福岡県に「菊池小学校」というところがあり、大刀洗町が菊池武光奮戦の地であることに由来することを知ったことから、昨年、当時の6年生が菊池小を訪ねて狂言を披露するなどして交流をしました。その際、菊池小の学校田で育てている古代米の種もみが贈られたのです。

地元の農家が提供した学校近くの水田約8アールに、その種もみからできた苗を児童が1つ1つ丁寧に植えました。参加した児童たちは「まっすぐに苗を植えるのが難しいです。秋にはたくさんの米が実ると嬉しいです」と話してくれました。

今後、害虫駆除や草取りなどを児童と保護者で行っていき、12月には菊池小の児童を受け入れての交流も計画されています。



古代米の苗を丁寧に植える菊池北小の児童たち

**6/25(水)・27(金) アジア・アフリカ支援米の田植え**



学校近くの水田で支援米の田植えをする花房小の児童たち

限府小学校(植嶋憲一郎校長)と花房小学校(福田哲朗校長)の児童たちが、「アジア・アフリカの飢餓で苦しんでいる人たちに少しでも手が差し延べられたら」と支援米を送るための田植えをそれぞれ行いました。

「食とみどり、水を守る菊池の会(立花富浩会長)」が毎年続けているもので、27日には花房小学校の全校児童90人が、学校近くの約10アールの水田に水着やTシャツ姿になって入り、稲の苗を一つ一つ丁寧に植えました。

事前学習で「いつもおいしくたくさんのお米が食べられる影では、お腹をすかせて苦しんでいる人がたくさんいる」ということを学んだ児童たちは、日差しが強い中、「大きく育ててほしいという気持ちで丁寧に植えました。昨年以上の米が取れてカンボジアに送れるといいです」と類に汗を拭きながら話してくれました。

**6/26(木)・7/3(木) 菊池一族の子孫の皆さんへ大型絵手紙**

菊池北中学校(北村榮一郎校長)で選択国語・絵手紙コースを受講している3年生19人が、わいふ一番館まちかど資料館で、菊池一族の子孫の皆さんへ向け贈る、大型の絵手紙を作成しました。

地域の歴史に関心と誇りを持ってもらうことを目的に初めて行われたもので、同校の授業で絵手紙の暖かさなどを教えている日本絵手紙協会公認講師の村川尚子さんと野尻正子さんも一緒に手伝いました。

生徒たちは菊池一族の歴史を学習し、縦横各1.4メートルの和紙2枚に、同資料館に展示してある菊池武光公の騎馬像と南北朝時代の大鎧(おおよろい)をそれぞれ描きました。慣れない共同作業と初めての大作に四苦八苦しながらも2枚を完成させ、余白に「結婚おめでとうございます。菊池一族には偉大な人がたくさんいてすごいですね」などと、お祝いと今回学んだ感想も添えました。

描かれた2枚のうち騎馬像を描いた1枚が、今年1月に自分のルーツを訪ね新婚旅行で菊池市を訪れた東京都在住の菊池宏幸さん夫婦に贈られました。



完成した大型絵手紙と作成した生徒たち